

主の平和がありますように

釜石の支援センターが開設して約4ヶ月が過ぎようとしています。これまでの皆様のお働き、お支えに深く感謝いたします。

釜石でも本格的な冬が到来し、寒さがどんどん厳しくなっています。足湯やお茶っこサロンも始まり、状況もニーズも刻一刻と変化しています。北海道教区震災支援室では、現地の現在の必要を教区内諸教会・信徒の皆さんに発信し、支援品の提供をお願いしてまいりたいと考えています。この度、支援品リストを更新しましたので、今一度周知くださるようお願い申し上げます。被災地の方々のために祈り、ご協力ください。

このところ、突然品物が送られてきたり、支援品として提供できない品質のものが送られてきたりして現地が困惑するケースが出てきています。皆さんのお気持ちはありがたいのですが、数の調整や時期の調整をしないと、少人数で運営している釜石支援センターの働きが滞ってしまいます。また、支援センターの物品置き場の広さにも限界があり（かなり狭いです）、大量の物品をストックしておくわけにもいきません。これらの事を避けるため、支援品の数や時期の調整を、震災支援室から函館の藤井直姉に依頼しております。なにとぞ、支援品の提供に際しましては、下記の要領にてご協力くださるようお願いいたします。

主にあつて

北海道教区東日本大震災支援室長 司祭 大町信也

## < 支援品提供の手順 >

- ① 「支援品要請リスト」をご覧になり、その中で提供可能な品目・数量（大まかで結構です）を、下記までお知らせください。（函館まで送る必要はありません。発送する前に連絡を必ずしてください）そこで、品目・数量・発送時期などについて調整を受けてください。 また、小分けにして梱包した方が現地で助かる場合、一括して送った方が都合の良い場合などの、指示がある場合もあります。

- ・ メールアドレス c-nao@mbe.nifty.com
- ・ 電話 0138-23-5584（函館聖ヨハネ教会）
- ・ F A X 0138-23-5656（ 同上 ）

※ 藤井直姉（函館聖ヨハネ教会）が、支援品の集約・調整を担当くださいます。

※ 品目によっては、数量調整を行わないと現地で困難をきたす場合があります。

- ② 品目・数量等の調整後、指定された時期に発送を行ってください。尚、発送に際しては、教区より配布されている「支援物資票」を、1箱に2か所「貼付」してください。支援物資票は教区ホームページからダウンロードできます。もしくは各教役者にデータを配布してありますので、そちらからお求め下さるよう、お願いいたします。

送り先は 026-0031 釜石市鈴子町 5-4 0193-55-4524

「一緒に歩こうプロジェクト 釜石被災者支援センター」

# 支援品要請リスト（12/15 付け）

## 《支援センターで被災された方に提供するもの》

### 1、冬物衣料

- セーター・カーディガン・厚手のシャツなど  
冬物の暖かい衣料が求められています。アウター（オーバー・コート）の下に着る物のニーズが高いです。
- アウター（オーバーやコートなど）  
ニーズのピークは過ぎましたが、まだ求めに来る方がいます。
- ズボン  
男女ともにズボンが求められています。サイズの問題で難しいですが、求める方が大変多くいます。
- 肌着（ババシャツ・ズボン下・他）  
肌着は皆さん求められています。新品に限っていますので、供給量が少ない現状があります。
- ニット帽・手袋・マフラー・他  
冬物の小物もニーズが高いです。特に帽子と手袋が不足しています。またひざ掛けやショールなども喜ばれます。
- スエット上下（厚手）  
家着としてパジャマ代わりにもなる物が人気です。イージーパンツやトレーナーのような物もニーズがあります。

※衣類に関して、子ども用のもののニーズは決して高くありません。特に肌着等は、大人用のもののニーズが圧倒的に高い状況です。

### 2、ジャガイモ・かぼちゃ・玉ねぎ

仮設訪問の際にお持ちしたり、センターを訪ねて来られる方に提供したりしています。かなり喜ばれます。

### 3、タオル

足湯用のタオルを必要としています。企業等の名前が入っている物でも構いません。

### 4、靴、長靴

新品同様の状態であれば求められる方が多くいらっしゃいます。行政の支援品にはなかなかサイズの合うものが無いようです。

### 5、姿見（大きな鏡）

### 6、毛糸

市内にあった手芸店が流されてしまい、毛糸がなかなか手に入らないようです。かぎ針や編み棒は100円ショップなどで簡単に手に入るのですが、毛糸は入手困難な状況が続いています。色などは揃っていなくても大丈夫です。

### 7、電器毛布・敷物・電器カーペット

下から冷えがくる仮設ではニーズがあります。

\* 暖房器具・電化製品・布団などのニーズは収束へ向かっています。ニーズがあった場合は個別に対応したいと思っています。

## 《至急 提供をお願いしたいもの》

### 1、 もち米 50 キロ

年末年始に餅つき大会を複数の仮設で行います。もち米 10 キロで約 7 升です。一回の餅つき大会で 10 キロから 20 キロのもち米が必要です。全部で 80~100 キロくらいのもち米が必要になりますが、現在確保できているもち米は 30 キロです。

### 2、 ホッカイロ

貼るタイプのカイロのニーズが高い状態です。

### 3 おから 15 キロ

ある被災者から幼稚園のこども会で父母がつくるおから餅用のおからを求められています。釜石の豆腐屋さんは被災していて、入手困難となっています。ちなみにおからは冷凍できるそうです。

### 4 毛布・冬用シーツ

### 5 姿見

### 6 掃除機

## 《ボランティア宿舎備品として 提供をお願いしたいもの》

### 1 加湿器

太平洋岸にある釜石は、渇いた空気で、ボランティアの方の健康上、加湿器があると助かります。

### 2 食器洗浄機

朝など、限られた時間で、朝食後に打ち合わせや出発準備をいたしますので、自動的に食器が洗えると助かります。